

公的年金は社会全体で 高齢者の生活を支える制度です

国民 年金

〈問合せ先〉
岐阜南社会保険事務所
☎273-6161



○貯蓄、仕送りでは難しい老後の生活

かつての日本は、家族で高齢者の暮らしを支えるのが一般的であり、また、私的な貯蓄によって老後の生活を送ることができました。

しかしながら、日本社会の構造の変化、核家族化と少子化の進行、平均寿命が大幅に伸び、老後生活が長期化したことなど、さまざまな要因によって、家族による私的な扶養や貯蓄のみで老後の生活を送ることが困難になっています。

○社会全体で支える 経済変動にも強い

公的年金は、現役世代の保険料負担で高齢者世代を支えるという世代間扶養の仕組みを基本として運営されています。これは、一人ひとりで私に行っていた老親の扶養や仕送りを、社会全体でカバーするものです。現役世代が全員ルールに従って保険料を納付し、そのときの高齢者全体を支える仕組みは、私的な扶養の不安定性などのトラブルを回避するメリットがあります。

また、年金を受けるところの将来の経済社会がどうなっているか予測がつかない中で、公的年金は、基本的に物価の変動に応じて支給額が変動する仕組みとなっており、将来の経済変動にも十分に堪えられるものとなっています。それによって実質的価値を維持した年金を一生涯にわたって保障するものであることから、安定的な老後の所得保障を可能にしているのです。

○若い世代にとっても重要な役割を果たす

年金は、高齢者世代にとってはもちろんのこと、若い世代にとっても、自分の親の私的な扶養や自分自身の老後の心配を取り除く役割を果たしています。年金は個人個人の自立を高め、社会の発展、安定に貢献している側面があります。

このように、年金は、国民の生活、経済からみて不可欠かつ重要な存在となっているといえます。国民年金に加入し、保険料を納付しましょう。



教育委員会だより

健康な体を 保つために

エスカレーターと階段があります。さて、皆さんはどちらを使いますか。各々の健康状態や年齢・体力によっても異なりますが、私たちの生活は、交通手段や家電製品の発達によって体を動かすことが少なくなってきました。

「体力の衰えはまず足腰から」とよく言われます。歩くことが少なくなりましたが、体力は、人間のあらゆる活動の源であり、健康な生活を営む上でも、また物事に取り組む意欲や気力といった精神面の充実にも深く関わっています。

こうしたことは大人だけでなく、子どもについても同様のことが言えます。小中学生の時期に様々な運動

に親しみ、活発な身体活動を行うことは、成長・発達に必要な体力を高めることはもとより、運動・スポーツに親しむ身体的能力の基礎を養い、病気から身体を守る体力を強化し、より健康な状態をつくっていくことにつながります。

文部科学省が行っている「子どもの体力向上キャンペーン※」のウェブページには、子どもたちの体力・運動能力についての現状や体力向上のためのヒントが多数掲載されています。大人が見ても、健康の保持増進のために役立つことが多数あります。

「忙しくて運動している時間がない」と考えずに、日頃の生活の中でちょっと体を動かしてみたり、ほんの少し散歩に出かけたりして体を動かす機会を増やしてみませんか。また、「調和の取れた食事、適切な運動、十分な休養・睡眠」という健康三原則をふまえた基本的な生活習慣を身につけることも重要です。

※「子どもの体力向上ホームページ」で検索